

観光社会資本の事例

テーマ	水都松江の風情が楽しめる松江堀川						
【施設の状況写真】							
							
<p>千鳥城とも呼ばれる松江城の優美な姿を望む松江堀川。松江堀川の沿川は、松江城、塩見縄手をはじめとした城下町の風情があり、水都松江のシンボルとなっている。県外からも多くの観光客が訪れ、松江市を代表する観光スポットとなっている。</p>							
【施設の利用写真】							
							
<p>堀川沿いにある「カラコロ広場」</p>							
<p>松江堀川では、平成9年7月から堀川遊覧を開業し、以来発着場では毎日のように多くの観光客で賑わっている。船の発着場は3箇所あり、コース全長は約3.7km、遊覧時間は約50分で、松江城や武家屋敷、官庁街などの町並みを川面から見る事ができる。</p>							
【観光資源としての利用状況】							
<p>松江堀川は、史跡松江城や武家屋敷などとともに松江観光の中心地をなしており、水都松江のシンボルとして多くの観光客で賑わっていましたが、平成9年度からは松江城の堀川を周遊する堀川遊覧船「ぐるっと松江堀川めぐり」が開業され、水都松江の風情を楽しむことから、現在でも県内外を問わず多くの観光客で賑わっています。また、発着場周辺には地ビール館などの新たな施設もつくられています。</p>							
<p>堀川遊覧船利用者数 単位:人</p>							
堀川遊覧船	H10 196,757	H11 313,967	H12 309,461	H13 338,061	H14 345,577	H15 328,268	H16 325,151

テーマ	水都松江の風情が楽しめる松江堀川		
【社会資本の基礎データ】			
名称	松江堀川		
所在地	島根県松江市		
事業名	松江堀川水質浄化事業	河川環境整備事業(河川浄化)	
事業主体	島根県松江市	国土交通省	島根県
事業期間	昭和47年～	昭和51年(浄化用水導入開始)～	昭和47年～63年
【社会資本の役割・効果】			
<p>松江堀川は、昭和30年代の高度成長期の頃より、家庭雑排水等の都市排水が増加し、水質が急速に悪化してきました。最も水質汚濁が著しかった時期は昭和40年代で、夏季には底泥からメタンガスや硫化水素が発生し、酸欠のためフナが斃死することもありました。以来、河川が排水路化することによる河川景観の悪化により、人々が松江堀川から離れていきました。</p>			
<p>このため、昭和47年度から着手した公共下水道や水質浄化事業により徐々に水質が改善され、また、平成6年には、「水環境緊急改善行動計画」を策定し、さらなる水質改善の取り組みを行った結果、堀川本来の姿を取り戻しつつあります。これらの取組が、松江観光に欠かせない堀川遊覧船の運行を支えています。</p>			
【位置図】			
			
<p>【関連ホームページ】松江市観光協会 http://www.city.matsue.shimane.jp/kankou/ 松江市 http://www.city.matsue.shimane.jp/</p>			